

「絵本たねまき塾」を訪問しました

10月27日（日）10：00-12：30 広島市中央公園西側芝生広場の一角で運営される絵本たねまき塾を訪ねました。この日は、「もとまち自遊ひろば」の開催日で、遊びに訪れた子どもや保護者等が自由に絵本に触れることができるようになっていました。テント一基を「小さな劇場」として、芝生の上には敷物を敷き、舞台が設置されていました。1時間に1回程度、カチカチと拍子木を鳴らして観客を集め、絵本の読み聞かせと紙芝居を交互に実施していました。

9歳前後に発達するまでは、目だけで、絵を見て文章を読む、この2作業は難しいそうです。読み聞かせをすると、子どもは目で絵だけを見て、耳から物語を聞ける、ので理にかなっていることでした。場所を提供しているひろばのスタッフからは、「質を考えられた絵本が並んでいて良いです。」「たねまき塾はベテランの方が多く、子どもに理解のある年配の方がひろばの一角にいると助かることも多いです。」と言われていました。

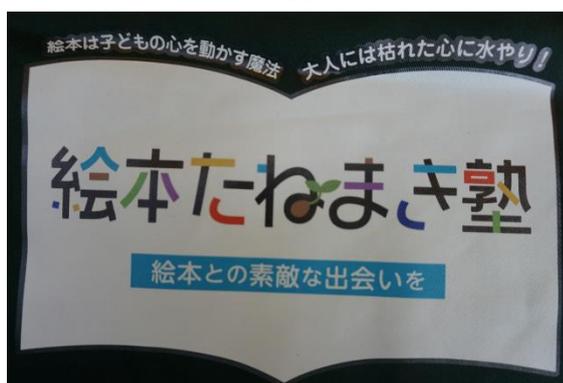
*もとまち自遊ひろば…毎月第2・4日曜日の10：00-15：00まで「セトラひろしま」が広島市から委託されて運営。不特定多数の親子や小学生が平均して1日100人以上訪れる。



自由に選べる絵本



紙芝居上映中



スタッフエプロン



絵本の紹介

<絵本たねまき塾>

- ・ 素晴らしい絵本との出会いにより青少年が夢や希望をいただいて未来に向かって生きる力を伸ばし、豊かな感性を身に付けながらりっばな人格形成を目指していけるよう青少年に寄り添いながらその成長を支援していく団体。小学校や公民館で絵本の読み聞かせ活動を行っている。
- ・ 2015年11月に結成し、現在のメンバーは15名（'19年1月）。